



富山県

No.41 2006年10月

中央植物園だより



フヨウ *Hibiscus mutabilis* L.

アオイ科の多年生植物で、四国、九州南部、琉球諸島のほかに中国、済州島に分布する。高橋治の小説「風の盆恋歌」に登場し、石川さゆりの「風の盆恋歌」でも歌われているスイフヨウ（酔芙蓉）はフヨウの八重咲き園芸品種である。フヨウは8月から9月に開花するが、スイフヨウの開花はそれよりも遅く、残念ながら八尾のおわら祭りが行われる9月1日から3日には例年開花しない。

「出会い」 撮影／赤尾 健さん（平成18年度私の植物写真展応募作品）

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

10月～12月のサンライトホール展示

「小・中学生夏休み作品展」～10月18日(水)

県内の小・中学生が夏休みの間に行った研究や工作を展示しています



夏休みの間、中央植物園では小・中学生を対象にした様々な植物教室を開催し、参加者はみんな思い思いの作品をつくりました。

9月8日から開催している「小・中学生夏休み作品展」では、その教室に参加した児童・生徒が作ったどんぐりなどを使った工作やソテツで作った虫かご、植物染めなどを中心に展示しています。子供たちが作った作品をぜひ見に来てください。

中央植物園で行われた
夏休み教室の様子



ソテツで作った
虫かご
何を入れようかな～



植物染め
鮮やかな赤や黄色に
染まりました



「菊展」

10月20日(金)～11月15日(水)

嵯峨菊、肥後菊、伊勢菊、江戸菊、奥州菊、
美濃菊といった古典菊をはじめとする園芸菊
を展示します。



関連行事

栽培講習会「菊づくり12ヶ月」

日時：10月29日(日) 13:30～15:00

場所：中央植物園 ドリアスホール

入園料：大人600円

植物園 トピックス

■友の会の瀋陽園芸博ツアー が行われました

今年の5月から10月までの6ヶ月間、中国遼寧省の瀋陽で「世界園芸博覧会」が開催されました。中央植物園友の会でも、賛助会員の旅行代理店が7月14日から17日までの3泊4日で「友の会園芸博ツアー」を計画したところ、8名の参加があり、植物園からも1名の職員が同行しました。約200ヘクタールを超える広大な敷地には、国際庭園や国内庭園が整備され、色とりどりの花壇や3,000品種1万株のバラを集めた「バラ温室」などが目を楽しませてくれました。



■中国科学院昆明植物研究所の 李博士が共同研究のために 来園しました



現在、富山県中央植物園と中国雲南省にある中国科学院昆明植物研究所とが行っている共同研究、「中国雲南省の貴重植物の保全生物学的研究」のために昆明植物研究所の李宏哲博士が来園しました。李博士は昨年、ペゴニアの研究で博士号を取得したばかりの期待の若手研究者です。今回が初めての来日で、中央植物園には7月6日から9月28日まで滞在し、今年の研究テーマであるアヤマ属植物の染色体や組織培養の研究などを行いました。来県当時は話せ

なかった日本語も大分理解できるようになり、日本食では天ぷらはおいしかったようですが、寿司は少し苦手なようでした。

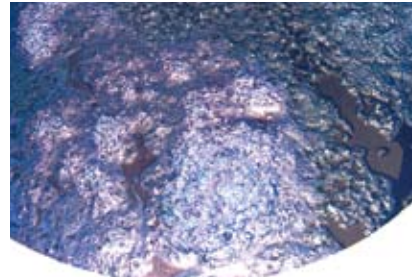
■志内主任が共同研究のために 昆明植物研究所へ行きました

中央植物園の志内主任は昆明植物研究所との共同研究のために8月17日から9月28日まで中国雲南省に滞在し、今年の研究テーマであるアヤマ属植物の自生地調査などを行いました。この成果は今年度の研究発表会で紹介される予定です。



活動報告(6~8月)

特別展「ニライカナイの染織と食」 8月4日(金)~9月6日(水)



藍建が上手くいき、藍の花が咲いた状態

今年の夏は、特別展「ニライカナイの染織と食」をメインに、琉球列島の植物文化に関する様々な企画を開催しました。特別展では、沖縄県をはじめ、多くの方のご協力により、人間国宝の平良敏子さんの芭蕉布をはじめ、紅型、知花花織、久米島紬、八重山上布、宮古上布など大変貴重な琉球の文化を紹介しました。会場設営には知花花織研究会の島袋領子さんが沖縄から駆けつけてくださいました。



沖縄の藍はリュウキュウアイから作られ、天然の藍建(あいだて)は大変難しい作業とされています。兼本主任の毎日の世話により見事に成功し、多くの方に藍染めを体験していただくことができました。



沖縄独特の食材植物を展示しました。



沖縄から取り寄せた47銘柄の泡盛の展示は圧巻でした。

植物染め講習会

8月5日(土)



特別展に合わせ、沖縄独特の色であるリュウキュウアイによる青色とフクギによる黄色の染色を行いました。予想以上の染まり具合に参加された方は驚いていました。

TOYAMA植物フォーラム

「琉球列島の植物文化」 8月6日(日)

中央植物園兼本正主任が「琉球列島の植生と植物相」と題して琉球列島の植物を地理的、歴史的、気候的な面から紹介し、池原直樹元沖縄県立読谷高校教諭が「中・南琉球の植物文化」と題して沖縄の人々の生活と深く関わってきた植物について、その歴史的な背景などを解説しつつ紹介しました。



「琉球料理とその材料植物」 8月20日(日)



職員による沖縄の食材植物の紹介の後、富山市内の沖縄料理店「南国酒房ちゃんぷる」の店主黒田さんを講師に迎え、沖縄料理の作り方を教えていただきました。当日は、6品もの沖縄料理を教えていただき、頭もお腹もいっぱいでした。

第3回ドリラスコンサート

「琉球音楽のしらべ」

8月27日(日)



富山県沖縄県人会の「かりゆし会」と「Jin Jin」によるコンサートが開かれ、三線の音楽あり、踊りありで100名を超える参加者を楽しませてくれました。

ボランティア基礎講座 1

「植物園の歴史と役割」 6月11日(日)



今年度5回にわたって開催されるボランティア基礎講座の第1回目が開催されました。内容は「植物園の歴史と役割」でした。次回は10月9日(月・祝)です。

夏のガーデニング相談会 7月16日(日)



植物の栽培方法から夏に特に問題になる病虫害の防除など園芸に関する様々な話題で盛り上がりました。次回「秋のガーデニング相談会」10月22日(日)です。

食虫植物展 7月21日(金)～8月2日(水)



代表的な食虫植物であるウツボカズラやハエトリグサ、モウセンゴケなど62種300株を展示しました。特に子供たちに人気の展示になりました。

ゲッカビジン観賞 7月30日(日)・31日(月)



今年はゲッカビジンの開花が遅れ、問い合わせもたくさん頂きましたが、7月30日・31日に無事観賞会を開催することができました。31日は200輪以上の花が咲き、入園者も1000人を越え、大盛況でした。

夜間開園 8月13日(日)・14日(月)



毎年恒例の夜間開園が、お盆の間の二日間開催されました。夜の間にだけ開花するサガリバナや夜咲き性の熱帯スイレンなどが人気でした。

研究紹介◎ササ属植物の葉の大きさの比較

主任 高橋一臣

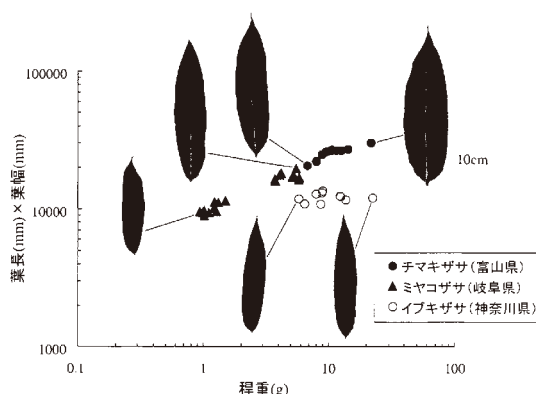
ササ属植物のうち、日本海側の低地に多いチマキザサの仲間、太平洋側のササに比べて大きな葉をつける印象があります。大型のチマキザサの葉は食物を包むのに適しており、富山名物「鱒の寿司」にも使われています。

しかし、ササ属植物では環境条件によって植物体の大きさが著しく変化するため、単純に葉の大きさだけを比べるわけにはいきません。そこで、稈(かん=イネ科植物の茎)の重さと葉の大きさの関係を比較してみました。測定したササは、チマキザサの仲間と、これに近縁で太平洋側の少雪地に分布するミヤコザサの仲間、太平洋側の山地に多いイブキザサ(アマギザサ)の仲間です(以下、単にチマキザサ、ミヤコザサ、イブキザサと呼びます)。

右の図は、稈がまだ枝を出していない当年生の地上部について、稈重(乾燥重量)と最大葉の大きさ(葉長×葉幅)の関係を対数目盛りで示したものです。チマキザサとミヤコザサの測定値は右上がりのほぼ同じ直線上にならび、全体が大型で稈が重いチマキザサはより大きな葉をつけてい

ました。一方、イブキザサはこの関係から下にはずれ、稈の重さがチマキザサとほぼ同じであるにもかかわらず、小さな葉をつけていました。

まばらに枝を出すチマキザサや、ほとんど枝を出さないミヤコザサに対して、イブキザサは条件のよい場所では稈の上部から密に枝を出します。イブキザサの葉が稈重の割に小さいのは、このような分枝様式と関係がありそうです。



中央植物園で初めて咲いた植物

コンニャク属 ブルビフェル

(Amorphophallus bulbifer (Roxb.) Bl.)

2000年2月に植物園協会の種苗交換を通じて、京都府立植物園から導入したコンニャク属の植物です。導入から6年目の今年、初めて開花しました。コンニャクの仲間は東南アジアを中心に約100種ありますが、本種はインド北東部が原産で、ネパールにも分布すると書かれている文献もあります。苞の色は褐色が多いこの仲間の中では珍しい淡いピンク色で、美しい。



催し物のご案内

■サンライトホール展示

小・中学生夏休み作品展

9月8日(金)～10月18日(水)

菊展

10月20日(金)～11月15日(水)

干支にちなんだ植物展

12月8日(金)～1月31日(水)

■観察会・講座・講習会

第27回 植物画講習会

◆要申込

9月30日(土)・10月1日(日)

10:00～16:00

場所/研修室

講師/豊田路子・岡田宗男(植物画家)

定員/50名

参加費(画材代)/500円

ボランティア基礎講座2

「珍しい植物の収集と栽培の方法」

10月9日(月・祝) 13:00～16:00

場所/研修室

講師/中央植物園職員

定員/50名

参加費/無料

どんぐりであそぼう

◎要申込

11月4日(土) 13:30～15:00

11月5日(日) 13:30～15:00

場所/トリアスホール

定員/30名程度

参加費/無料

秋のガーデニング相談会

◎要申込

10月22日(日) 13:00～14:00

場所/研修室

定員/30名

参加費/無料

園芸講習会「菊づくり12ヶ月」

◆要申込

10月29日(日) 13:30～15:00

場所/ドリアスホール

講師/未定

定員/50名

参加費/入園料が必要

ボランティア基礎講座3

「植物園と学校教育・生涯学習」

12月3日(日) 13:00～16:00

場所/研修室

講師/中央植物園職員

定員/50名

参加費/無料

冬のガーデニング相談会

◎要申込

12月17日(日) 13:00～14:00

場所/研修室

定員/30名

参加費/無料

ボランティア基礎講座4

「植物の名前について」

1月7日(日) 13:00～16:00

場所/研修室

講師/中央植物園職員

定員/50名

参加費/無料

■月例行事

日曜植物案内

10月1日(日)・11月5日(日)

12月3日(日)・1月7日(日)

11:00～12:00

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

植物園オリエンテーリング

9月17日(日)・10月15日

10:30～11:30(受付)

集合場所/サンライトホール

参加費/入園料が必要

◎要申込

事前の申込が必要です。

前日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込

事前の申込が必要です。

申込は1ヶ月前から「往復はがき」で

受け付けています

友の会会員募集中!

■特典

会員証を示しサインするだけで入園できます。

会報や植物園だよりが送られてきます。

多彩な友の会の行事に参加できます。

印刷物を割引で購入できます。

■会費

年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法

植物園の入園窓口で随時受け付けています。

富山県中央植物園 入園案内

◎開園時間

9:00～17:00(入園は16:30まで)

(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

◎休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

◎入園料 大人(一般および大学生) 600円

団体料金(20名以上) 480円

高校生以下 無料

◎交通案内

JR富山駅から、富山地铁バス…「ファボーレ 経由秋の島循環」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約8分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分